

市が考えている利活用案のイメージ



カフェやレストラン、蚕糸・絹産業を学ぶ場など

1月23日~29日実施

富岡倉庫 オープンハウス



1号倉庫

明治34年ころの建築。れんが積み、日本瓦ぶき、寄棟造り(延べ床面積約505㎡)

1月23日~29日、富岡倉庫の内覧会とあわせて「オープンハウス」を行いました。会場ではパネル展示やプロジェクトを使った映像などで来場者に富岡倉庫の利活用案を提案し、意見をいただきました。また、「花と緑のぐんまづくり」のPRを兼ねたオープンカフェでは、パレットを使ったり、まわりを花で囲んだりして来場者の皆さんに憩いのひとときを楽しんでもらいました。

▽来場延べ人数 1,294人
▽アンケート回答数 965件



●利活用案：世界遺産センター、映像技術を用いて絹産業を学ぶ場



4月22日(土)~5月21日(日)
花と緑のぐんまづくり
in 富岡・安中

~ふるさときらきらフェスティバル~

期間中、富岡倉庫を利用したイベントを企画しています。また、上州富岡駅前広場にも、オープンハウスで使用した花を飾ったデッキなどを設置して、富岡倉庫と一体となったにぎわい空間をつくります。

●利活用案：自動繰糸機などの動態展示、ブックカフェ



乾燥場

建築年は不明。亜鉛メッキ銅板ぶき、切妻造り(延べ床面積約1,300㎡)

●利活用案：現在、敷地内で経営をしている「おかつて市場」



3号倉庫

明治43年ころの建築。土壁、日本瓦ぶき、寄棟造り(延べ床面積約288㎡)

●利活用案：レストラン(1階)、音楽イベントやワークショップスペース(2階)



2号倉庫

大正12年ころの建築。大谷石積み、日本瓦ぶき、寄棟造り(延べ床面積約473㎡)

来場者の声

来場者の皆さんからいただいた意見の一部を紹介します。

来場者にインタビュー



和田健太郎さん(30歳)

Q.それぞれの建物の活用方法についてあなたの意見は?

▽1号倉庫⇨ギャラリーイベントとして活用

▽2号倉庫⇨雰囲気を生かしたレストラン、カフェ

▽3号倉庫⇨アスレチック(雨でも遊べる)、子どもが遊べる所

▽乾燥場⇨回答なし

Q.全体的に今回の計画をどう思いますか?

駅前に魅力的な所があるのは、とても良いことだと思います。常識にとらわれない、世界の富岡になることを期待します。四季を感じる場所が良いと思います。ターゲットをしばった活用が、結果的に人気を呼ぶと思います。

その他の意見

▽現建造物を観光に使用できれば、富岡駅・市役所周辺が良くなると思います。

▽交流拠点としてのターゲットがわからない(市民?観光客?)

▽広く多くの人に見てもらおうと保存のために改築は良いことと思うが、なるべく変更が少ない方が良いと思う。

▽楽しみ。市民として協力できることはしたいと思っています。たくさん意見を聞き入れてほしいし、市民をたくさん巻き込んでほしい。ひとごとにはさせないでほしい。

▽街の活性化につながるのので大いに賛成です。

▽耐震補強費、維持費、改装費(店、レストラン)をかけて、採算がとれるか心配です。

▽計画はとても良いのですが、お金のかかることなので、市民のみんなが活用できるようにしてほしいです。

▽現状の確保・維持をしっかりしてから、世界遺産センターとしての組み立てを行うこと。

▽南三社についてもふれてみてはいかがですか。市役所に以前は甘楽社があったわけですから。

▽花と建物の組み合わせもとても良いと思います。おしゃれな場所だと思いました。説明や案内もとても分かりやすく、好印象でした。